

講義名	教育原理【教職科目】			
担当教員	水田 聖一			
開講期・曜日・時限	後期 月曜日 5時限	授業形態	講義	
履修開始年次	1年生	単位数	2	備考

主題と概要 教職に関する科目（教育の基礎理論に関する科目） ・教育の理念並びに教育に関する歴史及び思想 教育の概念と理念並びに教育に関する歴史及び思想を講義する。それらをもとに、教育の意義、目的及び児童福祉との関連性、教育の基礎的概念と諸理論、教育の歴史、教育の制度、教育の実践、生涯学習社会における教育、現代の教育問題など各自が考えを深め広げる機会を提供する。さらに現代社会における教育事象についても理解を深める。
--

到達目標 ・教育の概念と理念について理解し、説明することができる。 ・教育の歴史の概要について理解し、説明することができる。 ・教育の思想の概要について理解し、説明することができる。 ・現代社会における教育の現状と課題を理解し、自らの視点をもって考えを述べるができる。

提出課題 ノート提出、小レポート(感想・コメント)提出

課題（レポートや小テスト等）に対するフィードバック 毎回書いてもらう小レポートは、次の週に返却する。
--

評価の基準 小レポート（30％）と定期試験（70％）により総合的に評価する。
--

履修にあたっての注意・助言他 毎回休まず出席することが大切、欠席の多いものは成績も下がります。この授業では4回以上欠席者は、試験を受けることができません。A以上の成績を多く取らないと、教育実習にいきません。テキストを購入しないものは、授業に出ることを禁ず。
--

教科書				
.教職教養の要点理解.	時事通信	時事通信社	1400	9784788716216

プリント資料及び参考文献 吉田貴子・水田聖一・生田貞子編著『保育の原理』福村出版 安藤忍彦ほか『よくわかる教育学原論』ミネルヴァ書房

授業計画 1. 教育の概念と理論(1) 教育課程 教育方法 2. 教育の概念と理論(2) 学習指導 生徒指導 3. 教育の概念と理論(3) 学校経営 学級経営 4. 教育の概念と理論(4) 特別支援教育 人権教育 5. 教育の概念と理論(5) 生涯学習 安全教育 食育 6. 教育の概念と理論(6) 情報教育 環境教育 7. 教育の概念と理論(7) 学習評価 学習指導要領 8. 教育の歴史と思想(1) 西洋古代・中世の教育思想 9. 教育の歴史と思想(2) 西洋近世の教育思想 10. 教育の歴史と思想(3) 西洋近代の教育思想 11. 教育の歴史と思想(4) 現代の教育 12. 教育の歴史と思想(5) 古代・中世の日本の教育 13. 教育の歴史と思想(6) 近世日本の教育 14. 教育の歴史と思想(7) 近代日本の教育 15. 教育の歴史と思想(8) 現代の日本の教育 新学習指導要領 新学力観

授業形態（アクティブ・ラーニング）			
ア：PBL（課題解決型学習）		イ：反転授業（知識習得の要素を授業外に済ませ、知識確認等の要素を教室で行う授業形態）	
ウ：ディスカッション、ディベート		エ：グループワーク	
オ：プレゼンテーション		カ：実習、フィールドワーク	
キ：その他（A-L型であるけども、以上の項目のいずれにも該当しない場合）			

準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間 テキストに従って進めるので、予習・復習をしっかりと行うこと。 特に授業では、学んだ人物や事象について、ウィキペディア等で発展的調査を行うこと。 上記の学習のために、4時間程度を費やすこと。
--

卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連 商学部マーケティング学科では、企業環境をマーケティングの視点で捉え、現状を改善する努力を継続することができる学生を育てます。本授業でも、自ら考え、自ら判断し、主体的に行動できるような取り組みが必要です。
--

双方向授業の実施及びICTの活用に関する記述 毎回テキストを朗読してもらって、その内容を要約する練習をする。 授業の最後に、学んだ事柄を自ら復習する。
--

実務経験の有無及び活用

備考 教員の免許状(高等学校1種免許・商業科)取得のための必修科目
